

子育てを共に No.4

つくしこども園

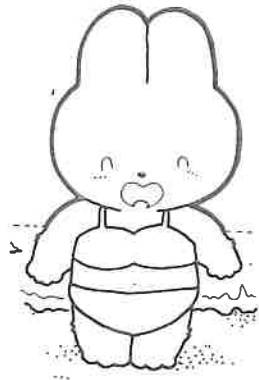
みなさんの理想の子ども像は……？

みなさんの最愛なるお子さんは、すくすく成長していますか？

「健康で、優しく、頭のよい子、あかるくて素直な子に……」など、どこのご家庭でも「こんな子に育てて欲しい」という理想を抱いておられることと思います。

「おぎゃー！」と生まれた赤ちゃんは、お母さんのおっぱいを飲んで大きくなり、ハイハイ～座る～立つ～歩く……という成長課程を踏んで、発達していきます。

そして、少しずつ親の手元から離れて、周りのいろいろな人たちと出会い、関わり合っ、たくさんの学習をしながら育っていきます。



近年は、核家族で、両親共に家庭外労働のご家庭が多くなったため、仕事と育児の両立に、苦勞されておられる家庭が多くなりました。そして、他人との関わりも無くなり、孤独な中で子育てをしていることで、関わり方が分からない上に、忙しさから、心のゆとりを無くしてしまい、イライラしたり、自分の子育てに不安や、自信をなくしたりしている人が、沢山おられます。

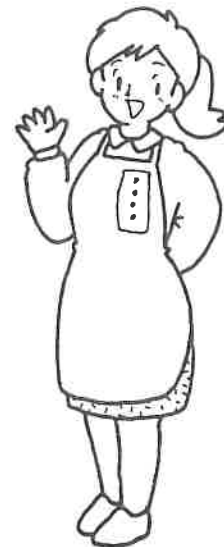
また、子育ての見習い学習をする機会が無いままに、親になる人が多くなった事で、夫婦だけでの子育てが、困難になっている現代です。

だから、みなさんの周りにおられる、ご両親や義父母、地域の子育て先輩の方々などから、頼もしいサポーターになっていただきましょう。

子育ての要領や、ポイント等についてのアドバイスや、困っている時には援助して貰って、1人で何もかも抱え込まないで、子育てを楽しむ余裕を持って頂きたいと思っております。

もちろん、こども園は、一生懸命に子育てしている皆さんの1番近い、強い見方です。今年も一緒に「子どもの幸せのために……」を第1に考えて、子育ての情報提供や、大変な部分のお手伝いをして、お役に立ちたいと思っております。皆様も、園任せにしないで、一緒に「元気な、賢い、よい子に」育てて参りましょう。

- ☆ 愛情をもって、自分のお子さんをしっかり見守りましょう。
- ☆ 周りの子ども達も見てみましょう。
- ☆ 同年齢の子ども達の発達を知り、「おや？」と思ったら「確かめる」～「考える」～「何とかしよう」と努力することも大切です。
- ★ ご心配な事や、相談したいことがありましたら、どうぞ遠慮なく、いつでも担任にお声掛けください。



自主性の発達経過の特徴

0 歳 頃	<ul style="list-style-type: none"> ○ うつぶせから、あごを上げるようになる ○ 首がすわり始める ○ 寝返りができる ○ ものをつかもうとする ○ お座りが安定する ○ ハイハイが、できるようになる ○ 指先で物をつかむようになる
1～3歳 頃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人で歩き始める ○ 盛んな子は、自主性が発達している ○ 探求心、欲求に基づく行動（どうして、どうして？） ○ 研究心の現れ ○ しゃがむ・またぐ等ができる ○ 両足で跳べる
2～4歳 頃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1反抗期（いたずらの盛んだった子） ○ 何かにつけて「いや！」と言って、できないくせに自分でやりたがる
3～4歳 頃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちを積極的に求め、友だちと遊ぶ事を楽しむ ○ 自己主張も強いので、けんかもよくする ○ 一人で着脱ができる ○ 四角形が描ける
7～9歳 頃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちとの関係が、最高潮に達する ○ ギャングエージ ○ 両親やその他、家族に対して盛んに「口答え」をする ○ 中間反抗期（思春期の第2と第1反抗期の中間）
15～18歳 頃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2反抗期 ○ 親から干渉されることを嫌い、干渉に対して反抗的な態度を示す ○ 精神的離乳の実現

◇ 「いたずら」や「反抗」は、順調に発達している証拠です。腹を立てたり、悩んだりしないで成長を喜び、その上で上手に子ども達とつき合っ、楽しく子育てをしてまいりましょう。

◇ 今が大切。年齢の特色を捉えてタイミングよく関わりましょう。



子育てを共に

No.5

つくしこども園

子どもの心身の達育・発達は著しく、個人差が大きいものです。また、子どもは大人や、他の子どもとの相互作用によって、人への信頼感や自己の主体性を形成していきます。特に子ども同士の相互作用が得られることは、大人相手だけの生活では得られない自己主張や自己統制の必要性を学ぶことは、発達の上で大切なことです。こども園で子ども達は、大勢の友達と色々な体験を通して、たくさんの学習して大きく逞しく育っていきます。

乳幼児期は、[基本的な生活習慣]を しっかり身につける時期です。

子どもの生活リズムを規則正しく整えてやり、毎日くり返し繰り返し習慣づけていくことが大切です。忙しい大人がみんな揃ってからの遅い[夕食・だんらん]に参加させる事よりも、子どもには早く夕食を食べさせて早寝・早起きをさせる事が大切です。

- 昼間元気に遊んでいる子は、夕食を食べるとすぐに眠くなります。
- お風呂に入れて、さっぱりとしたところで気持ちよく寝せてあげましょう。
- 夜の睡眠を十分に取らせてあげましょう。(暗い部屋で10時間)
- 夜(10時頃)眠っているときに、成長ホルモンがたくさん分泌されます。

[子どもの生活リズム=生体リズム]をしっかりと作ろう!

- ◎ 早寝(午後8時就寝)
 - ◎ 早起(午前6時起床)
- ※朝、自分自身で目覚めると、機嫌よく1日が送れます。

全家庭で実行しましょう!



おはよう!

- ◎ 親子で気持ちよい あいさつ
- ◎ ゆとりを持って、親子で食事
- ◎ 「元気かな?」朝の健康チェック
- ◎ 機嫌よく登園
- ◎ 保育者にしっかり引き継ぎ
- ◎ 子どもにしっかり関わりましょう!



毎年、幼児誘拐・殺害・不審者の横行、虐待など残虐で悲惨な事件が多発して社会を賑わしています。また、不登校やいじめ、ニート、ストーカー学級崩壊などの問題も、年々低年齢化して増加し、益々深刻になってきています。

非行は、一頃は小学校の問題だったことが、今日では保育園・幼稚園へと降りてきています。その原因は……?と、たどってみると、乳幼児期の子育ての問題や、家庭や保育園等での、子どもとの関わりが要因とされています。

大切なお子さんを、長時間お預かりしているこども園は、ご家庭と連携を密に図り、しっかり保育していかなければなりません。

また、未就園児のご家庭にも、保育情報をお届けし、園児同様に健やかな成長を願って応援をして参りたいと思っております。

身近な問題を探ると……

- ◎ 核家族化、密室、孤立長時間育児・閉塞感
- ◎ 母親の放任・養護放棄
 - ・ 基本的な生活習慣がついていない
 - ・ 夜型生活 96.9%
 - ・ ビデオ ・ TVゲーム ・ スマホづけ
 - ・ あいさつができない など
- ◎ 親の92%は、受容とわがままの区別がつかない
- ◎ 子育てできない母親・子どもの接し方が分からない
- ◎ 母親は一生懸命・子どもはよい子(ストレスからのパニック現象)
- ◎ 育児情報過多(何を信じてよいか迷う)
- ◎ 肌の感覚が分からなく、緊張している子(スキンシップ不足)
- ◎ 人の生死に出会う機会がない(病院入院のため)
- ◎ 想像力が働かない
- ◎ 親のわがまま(自分の時間づくり)
- ◎ 過保護・過干渉
- ◎ 思い通りにならない子への怒り(虐待)など

☆ 本当に子どもの幸せを考えるならば、上記の問題点を解決するよう、家族ぐるみで、強い信念を持って取り組むことが肝要です。

- ◎ 愛情を注ぎ、子どもを見守る。
 - ◎ 子どものわがままを通させず、善悪をきっちりと教える。
 - ◎ 規則正しい生活を送らせる。
 - ◎ 身内の冠婚葬祭につき合わせ、喜びや悲しみの体験をさせる。
 - ◎ 病児見舞いや、死との遭遇等から命の大切さを知らせる。
- など、意識して毎日の子育てに専念しましょう。

